

事業名	交通安全指導費			調査番号	15
細事業名	ビジョン・ゼロ山梨・飲酒運転絶滅研修会	財務コード	121110		
担当部課室	リニア交通 局 交通政策 課 交通安全 担当 (内線)		1963		

事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県内に在住・勤務するドライバー等 (将来に渡り飲酒運転根絶に大きく関 与する高校生等を含む)	その対象をどのような状態にして 飲酒運転等の危険性・悪質性、重罪性を 認識している	結果、何に結びつけるのか 飲酒運転の根絶
内容	企業等に職員が出勤、啓発DVDの上映、講話、飲酒疑似体験メガネの着用、飲酒運転事故被害者遺族の講演等を組み合わせ、研修会を実施。 飲酒運転の悪質性、危険性を、講話等を通じて周知するだけでなく、体験メガネを着用して作業を行うことで、飲酒運転の危険性を自ら体験し、飲酒運転をしないという機運を醸成する。 平成27年度実績：研修会6回、受講者合計890人		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	研修会参加人数	目標	1,050	450	750	750	750	750
		実績(見込)	1,297	570	840	700	890	650
		達成率	123.5	126.7	112.0	93.3	118.7	
		達成区分	a	a	b	b	b	
成果指標	飲酒運転事故発生件数	目標	74	73	72	66	61	58
		実績(見込)	73	68	58	56	60	54
		達成率	101.4	107.4	124.1	117.9	101.7	
		達成区分	b	b	a	b	b	
決算(予算) 単位:千円		39	10	5	10	34	39	39

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	平成27年の飲酒事故件数は前年より増加しているため、受講者の拡大による飲酒運転根絶の機運醸成を継続する必要がある。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の 必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性 (成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	研修会実施対象、講話の内容等を検討することで、より効果的に実施することができる。		
見直しの 余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの 必要性	有	交通安全運動等の様々な機会を通じて飲酒運転根絶の重要性を訴えるとともに、飲酒運転の発生率の高い市町村を中心に、企業単位の研修会を実施し、飲酒運転根絶に向けた県民の意識を高める。また、飲酒運転根絶の更なる対策として、バス利用促進などの施策と連携して相乗効果を図ることで、他の施策推進にも寄与できるよう進める。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等 の変更	説明	飲酒運転発生率の高い市町村を中心に、企業単位の研修会実施を呼びかけ、より効果的に飲酒運転根絶に向けた機運醸成を図る。また、研修会の際に、飲酒運転根絶のための対策として、バス路線の紹介などを行い、バス利用促進等の施策と連携を図る。
--------------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。